

トヨタ紡織と豊田中央研究所が共同開発した 高耐衝撃プラスチックが「文部科学大臣表彰 科学技術賞」を受賞

トヨタ紡織株式会社（本社：愛知県刈谷市、取締役社長：白柳 正義）と株式会社豊田中央研究所（本社：愛知県長久手市、代表取締役所長兼 CRO：中西 広吉）が共同開発した「高耐衝撃プラスチック（High Impact Polymer Resin）」が、このたび「令和5年度 文部科学大臣表彰 科学技術賞（開発部門）」を受賞しました。

昨今、企業の SDGs、ESG に対する取り組みが注目される中、トヨタ紡織は CO₂ 排出削減と資源の有効利用を目的に、植物由来原料を活用した材料開発を進め、2013年に豊田中央研究所と共同で「高耐衝撃プラスチック」を開発しました。

今後も、トヨタ紡織と豊田中央研究所は、「地球」と「人」に優しいサステイナブルな材料開発を進めていきます。

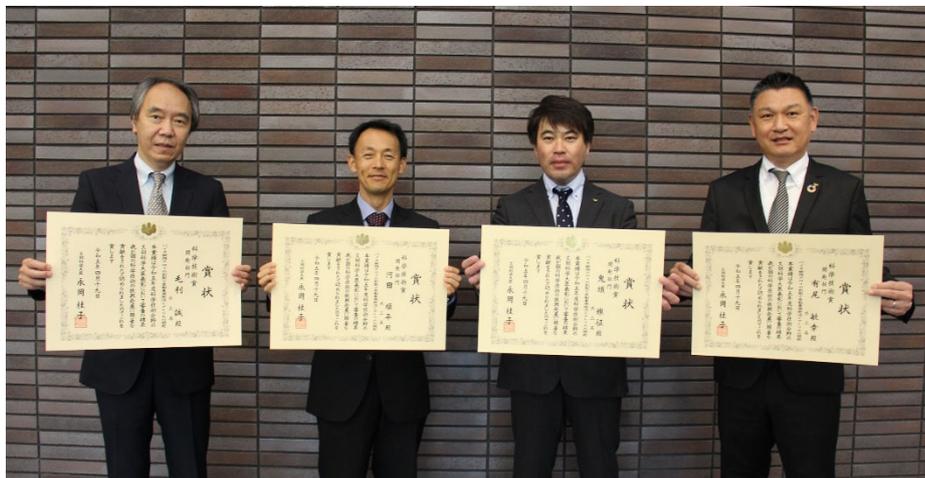
【受賞内容】

業績名：バイオ樹脂アロイの創製と自動車用発泡ドアトリムの開発

ご参考（技術紹介）：トヨタ紡織ウェブサイト「高耐衝撃プラスチック」

https://www.toyota-boshoku.com/jp/development/product_technology/foam/

【受賞者】



トヨタ紡織株式会社

材料技術開発部 プリンシパルエキスパート 鬼頭 雅征、技術開発領域 副領域長 有尾 敏幸
株式会社豊田中央研究所

サステナブルプロセス研究領域 主任研究員 河田 順平、総合企画・推進部 グループ連携室
室長 毛利 誠

令和5年度科学技術分野の文部科学大臣表彰受賞者等の決定について

https://www.mext.go.jp/content/20230413-mxt_sinkou02-000028862_1.pdf